

これからはじめるソーシャルメディアビジネス活用(全6回)

第1回:ソーシャルメディアとSNSは同じだと思いませんか?

執筆:原 一宣。(株式会社Gazi工房)

"ソーシャルメディア"は巷で話題のキーワードとなっていますが、みなさんはすでに利用されているでしょうか?

「横文字が多くて、なんだかよくわからない。」「利用できれば便利かもしれないけど、難しそう。」と敬遠されている方も多いかと思います。「これからはじめるソーシャルメディアビジネス活用」では、そんな方々に"ソーシャルメディア"を仕事や私生活で活用するためのお手伝いができるように解説します。

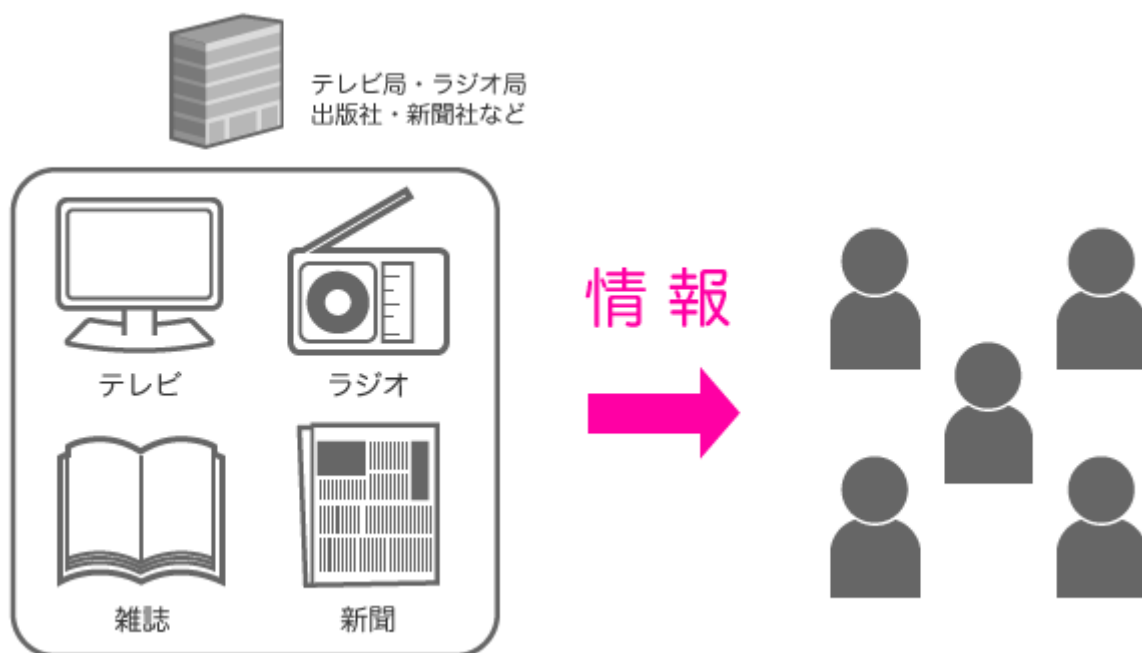
ソーシャルメディアとはどんなものでしょう?

ソーシャルメディアとは、インターネットにつながることができるパソコンや、スマートフォン、タブレットPCなどを持てば、誰でも参加することができ、さまざまな情報を発信することができるものです。

いいかえれば、どんな人でも日常のことやニュースなどについて、考えや感想を述べるなど意見交換をし、情報の共有・共感を通してコミュニケーションを図る場が、ソーシャルメディアとなります。

ソーシャルメディアの特徴は双方向性にあり

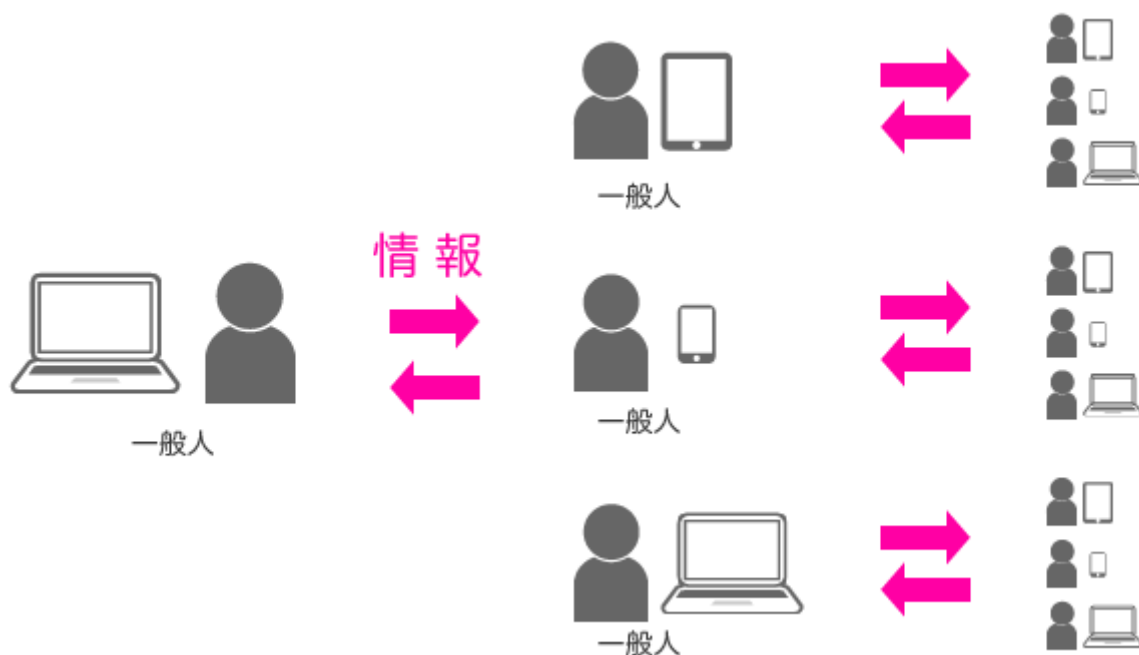
ひと口に"メディア"とは手段・媒介・媒体を意味します。みなさんは"メディア"といえば、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌などの「マスメディア」を思い浮かべたのではないのでしょうか。ソーシャルメディアの特徴を理解するために、このマスメディアと比較してみましょう。



マスメディアは、テレビ局・ラジオ局・新聞社・出版社などの特定の発信者から、不特定多数の人に向けて広く一方的に情報を伝えることができます。

ソーシャルメディアは、誰もがインターネット上のツールを利用することで情報を発信することができます。受け手側は、一方的に情報を受け取るだけでなく、発信者に対して直接的に意見を述べるなどの働きかけをしたり、情報をさら発信して

広く伝播することができます。



ソーシャルメディアの特徴は、「1対多数」「多数対多数」の双方向で情報を送受信し、コミュニケーションができることなのです。

SNSとは「人と人をつなげる」道具

SNS(エス・エヌ・エス)は "social networking service" (ソーシャルネットワーキングサービス) の略語です。人と人のつながりをうながし、サポートするコミュニティ型のインターネット上で利用できるサービスです。

代表的なものとして、Facebook、Twitter、Google+、LinkedIn、LINE、mixi、GREE、Mobageなどがあり、会員登録が必要なものも多々あります。SNSは、人のつながり、やりとりが目に見える形(可視化)で理解できることが最大の特徴といえます。

ソーシャルメディアは情報発信・交流の場

SNSは情報発信・交流の道具

最近では、ソーシャルメディアとSNSが混同されている状況がありますが、上記で説明したように本来は意味が違います。わかりやすく図で示すと以下ようになります。

ソーシャルメディア



ソーシャルメディアは、インターネット上で多くの人々が様々な手法を持って情報発信、表現ができる交流の場です。SNSは、ソーシャルメディアにおいて情報発信・交流の中心を担う道具ということになります。

まとめ

時の流れとともにSNS以外のWebサービスでもコミュニケーションを促進する機能が追加されたりなど、何をもってSNSなのか線引きや分類が難しい状況にもなりつつあります。

そもそも、ソーシャルメディア事体が進化の途中であり、多様化していく面も持ち合わせています。つまり、「このSNSのこんな使い方がソーシャルメディアである。」と言い切れるようなものではありません。

大切なことは、SNSやWebサービスの使い方や機能ではなく、ソーシャルメディアはどのような性質を持っているか、ご自身の目的を達成するためにどんな使い方をすれば最大限の効果を生むことができるのかという点を押さえること。そして、ソーシャルメディアの先には必ず「人」がいることをしっかり認識することができれば、新しいサービスが登場してもうまく対応することが可能となるでしょう。

次回は、「さあはじめよう!ソーシャルメディアは怖くない!!(仮)」と題して、ソーシャルメディアをはじめるとの心構えを解説いたします。(つづく)



原 一宣。(はら・かずのり) a.k.a がじろう(がじろう)

株式会社Gazi工房 代表取締役 / JimdoExpert

<http://gazikobo.co.jp/>

1974年、福島県福島市生まれ。東北福祉大学社会福祉学部社会福祉学科卒業。山形県川西町在住。食品加工会社、電子基板製造会社を経て、フリーランスでWeb制作活動を開始。

2007年に株式会社Gazi工房を設立。Webサイトの企画・設計、制作業務に従事。

学生時代からのニックネーム『がじろう』と本名よりも呼ばれることが多く、屋号の『Gazi工房』もそれに由来する。

元東北芸術工科大学 非常勤講師。クリエイティブユニット「gabs」メンバー。

CSS Nite in FUKUSHIMA実行委員。

著書『HTML5+CSS3の新しい教科書

基礎から覚える、深く理解できる。』(共著、エムディエヌコーポレーション)、『ああしたい、こう変えたいが手にと

るようにわかるCSS基礎』、『Webデザイン基礎トレーニング
現場で使うテクニックをひとつずつ、しっかり。〈HTML、CSS、jQuery、SVG、Webフォント〉』、『プロとして恥ず
かしくない 新・WEBデザインの大原則』(同)。